



2016年度（平成29年3月期）  
第1四半期決算

# 参考資料

2016年8月3日  
エーザイ株式会社

お問い合わせ

PR部： TEL 03-3817-5120

IR部： TEL 03-3817-3016

<http://www.eisai.co.jp/>

## 【将来予想に関する事項と事業等のリスク】

本発表において提供される資料ならびに情報は、現在における予想、目標、評価、見通し、リスクを伴う想定などの不確実性に基づくものを含んでいます。従って、さまざまな要因の変化により、将来予想などが実際の結果と大きく乖離する可能性があります。リスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった日本および国際的な経済状況が含まれています。

当社グループの連結業績を大幅に変動させる、あるいは投資判断に重要な影響を及ぼす可能性のあるリスクは、次のとおりです。なお、これらのリスクは、本資料作成日現在において判断、予想したものです。

海外展開におけるリスク、新薬開発の不確実性、他社とのアライアンスにおけるリスク、医療費抑制策、ジェネリック医薬品に関するリスク、知的財産に関するリスク、副作用発現のリスク、法規制に関するリスク、訴訟に関するリスク、工場の閉鎖または操業停止、使用原材料の安全性および品質に関するリスク、外部への業務委託に関するリスク、環境に関するリスク、ITセキュリティおよび情報管理に関するリスク、金融市況および為替の動向に関するリスク、内部統制の整備等に関するリスク、ならびに災害等に関するリスク

## 目次

1. 連結損益計算書	1
2. 資本的支出及び減価償却費の状況	2
3. セグメント情報	2
4. 報告セグメント別情報	3
5. 主力品売上収益	7
6. セグメント別売上収益予想	9
7. 連結包括利益計算書	10
8. 連結キャッシュ・フロー計算書	11
9. 連結財政状態計算書	12
10. 連結四半期業績の推移	14
11. 主要開発品	17

### 為替レート

		米国 (円/米ドル)	欧州 (円/ユーロ)	英国 (円/ポンド)	中国 (円/人民元)
2015年度 第1四半期	期中平均レート	121.36	134.15	186.11	19.56
	期末日レート	122.45	137.23	192.72	19.73
2015年度 通期	期中平均レート	120.14	132.57	181.30	18.85
	期末日レート	112.68	127.70	161.92	17.39
2016年度 第1四半期	期中平均レート	108.14	122.01	155.10	16.52
	期末日レート	102.91	114.39	138.41	15.46
2016年度 通期	予想レート	113.00	127.00	165.00	17.20

7月27日に修正した第2四半期累計業績予想の前提為替レートは、1米ドル=105.00円、1ユーロ=116.00円、1ポンド=137.00円、1人民元=15.50円となります。

- 当社の連結財務諸表は国際会計基準（IFRS）にて開示しています。
- 当社グループは、セグメントを医薬品事業とその他事業に区分しており、医薬品事業を構成する日本（医療用医薬品、ジェネリック医薬品、一般用医薬品等）、アメリカス（北米、中南米）、中国、アジア（韓国、台湾、香港、インド、アセアン等）、EMEA（欧州、中東、アフリカ、オセアニア）の5つの事業セグメントを報告セグメントとしています。  
なお、当連結会計年度において、日本事業の継続的な成長に向けた再編に伴い、前連結会計年度に報告セグメントを構成していた「薬粧-日本」を「日本医薬品事業」へ統合しました。また、当連結会計年度より、医薬品事業およびその他事業のセグメント利益の算定方法を変更したため、連結損益計算書の「その他の損益」を医薬品事業とその他事業へ配分していません。前連結会計年度まで医薬品事業とその他事業へ配分していた「その他の損益」は、「親会社の本社管理費等」に含めて表示しています。当該変更による要約四半期連結財務諸表への重要な影響はありません。  
なお、本資料のセグメント情報に関する前年同期の数値は、上記報告セグメントの変更および算定方法の変更を反映しています。
- 当資料中の数字は、四捨五入で表示しています。

## 1. 連結損益計算書

(億円、%)

	2015年度				2016年度				2016年度	
	1Q	売上比	通期	売上比	1Q	売上比	前同比	増減額	通期予想	売上比
売上収益	1,392	100.0	5,479	100.0	1,369	100.0	98.3	△ 23	5,800	100.0
売上原価	494	35.5	1,945	35.5	498	36.4	100.8	4	2,105	36.3
売上総利益	898	64.5	3,535	64.5	871	63.6	97.0	△ 27	3,695	63.7
販売費及び一般管理費	499	35.8	1,928	35.2	437	31.9	87.6	△ 62	1,969	33.9
販売費	160	11.5	612	11.2	125	9.1	78.2	△ 35	—	—
人件費	223	16.0	821	15.0	198	14.4	88.5	△ 26	—	—
管理費他	116	8.3	496	9.1	114	8.3	98.8	△ 1	—	—
研究開発費	327	23.5	1,223	22.3	262	19.1	80.0	△ 66	1,242	21.4
その他の収益	4	0.3	177	3.2	103	7.5	2455.4	99	53	0.9
その他の費用	0	0.0	41	0.7	17	1.3	3734.4	17	—	—
営業利益	76	5.5	519	9.5	258	18.9	339.1	182	537	9.3
金融収益	7	0.5	20	0.4	7	0.5	103.5	0	—	—
金融費用	8	0.6	35	0.6	7	0.5	84.2	△ 1	—	—
税引前四半期(当期)利益	74	5.3	505	9.2	258	18.8	346.8	184	522	9.0
法人所得税	19	1.4	△46	△0.8	49	3.6	254.5	30	—	—
四半期(当期)利益	55	4.0	550	10.0	209	15.3	378.9	154	324	5.6
四半期(当期)利益の帰属									—	—
親会社所有者	54	3.9	549	10.0	197	14.4	362.5	143	292	5.0
非支配持分	1	0.1	1	0.0	12	0.9	1563.3	11	—	—

四半期(当期)包括利益	202	14.5	165	3.0	△230	△16.8	—	△ 432
-------------	-----	------	-----	-----	------	-------	---	-------

EPS (円)	19.1	192.2	69.0	102.1
DPS (円)	—	150.0	—	150.0
ROE (%)	—	9.4	—	5.0
DOE (%)	—	7.3	—	7.3
海外売上収益比率 (%)	45.0	46.0	43.2	

- ・通期予想の販売費及び一般管理費にはその他の収益・費用が含まれています。
- ・当連結会計年度より、販売費及び一般管理費の内訳を組替えました。この変更に合わせて、前連結会計年度の数値を修正再表示しています。
- ・EPS：基本的1株当たり四半期(当期)利益、DPS：1株当たり配当金、ROE：親会社所有者帰属持分当期利益率、DOE：親会社所有者帰属持分分配当率

### <コメント>

■売上収益	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ レンビマ、フィコンパの拡大</li> <li>・ EAファーマ株式会社の連結子会社化による増加</li> <li>・ 日本における薬価改定や為替の影響による減少</li> </ul>
■販売費及び一般管理費	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ オペレーションの高質化・効率化</li> <li>・ 為替の影響による減少</li> <li>・ 前年同期に米国での構造改革費用の発生</li> </ul>
■研究開発費	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 為替の影響による減少</li> </ul>
■その他の収益	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子会社株式の取得に伴う一時収益(割安購入益)の計上</li> </ul>
■為替による影響額	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 売上収益：△84億円、営業利益：△10億円</li> </ul>
■為替感応度 (1円の円高に対しての年間影響額)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 売上収益：米ドル △10.8億円、ユーロ △2.4億円、英ポンド △0.3億円、人民元 △27.1億円</li> <li>・ 営業利益：米ドル 2.3億円、ユーロ △1.8億円、英ポンド 0.8億円、人民元 △14.7億円</li> </ul>

## 2. 資本的支出及び減価償却費の状況

(億円)

	2015年度		2016年度		
	1Q	通期	1Q	増減額	通期予想
資本的支出額	13	198	171	158	190
有形固定資産	10	128	47	37	90
無形資産	3	70	124	120	100
減価償却費及び償却費	103	341	80	△ 24	290
有形固定資産	35	131	29	△ 6	135
無形資産	68	210	51	△ 17	155

・資本的支出額は発生ベースで示しています。

## 3. セグメント情報

## 1) セグメント売上収益

(億円、%)

	2015年度		2016年度		
	1Q	通期	1Q	前同比	為替影響除く 前同比
医薬品事業（報告セグメント）計	1,353	5,318	1,351	99.8	106.0
日本 医薬品事業	738	2,849	771	104.5	104.5
アメリカス 医薬品事業	298	1,222	292	98.1	110.2
米国	295	1,210	288	97.9	109.8
中国 医薬品事業	129	493	112	86.4	102.2
アジア 医薬品事業	86	340	86	99.0	117.0
EMEA 医薬品事業	102	413	90	89.0	99.7
その他事業	39	162	19	47.0	48.7
連結売上収益	1,392	5,479	1,369	98.3	104.3

・外部顧客に対する売上収益を示しています。

## 2) セグメント利益

(億円、%)

	2015年度		2016年度		
	1Q	通期	1Q	前同比	為替影響除く 前同比
医薬品事業（報告セグメント）計	420	1,689	457	108.8	116.5
日本 医薬品事業	319	1,143	291	91.4	91.4
アメリカス 医薬品事業	19	236	70	362.0	420.5
中国 医薬品事業	40	126	36	90.9	119.7
アジア 医薬品事業	23	83	26	113.1	139.8
EMEA 医薬品事業	19	102	34	173.2	189.7
その他事業	6	33	5	93.2	92.6
研究開発費	△327	△1,223	△262	80.0	86.5
親会社の本社管理費等	△22	△130	△36	162.6	163.2
割安購入益	—	—	93	—	—
子会社株式売却益	—	150	1	—	—
連結営業利益	76	519	258	339.1	352.8

・当連結会計年度より、医薬品事業およびその他事業のセグメント利益の算定方法を変更したため、連結損益計算書の「その他の損益」を医薬品事業とその他事業へ配分していません。前連結会計年度まで医薬品事業とその他事業へ配分していた「その他の損益」は、「親会社の本社管理費等」に含めて表示しています。この変更に合わせて、前連結会計年度の数値を修正再表示しています。

## 4. 報告セグメント別情報

### 1) 日本 医薬品事業

(億円、%)

	2015年度		2016年度	
	1Q	通期	1Q	前同比
売上収益	738	2,849	771	104.5
医療用医薬品	615	2,339	653	106.3
ジェネリック医薬品	69	285	71	103.1
一般用医薬品等	40	181	47	116.6
診断薬	14	44	—	—
セグメント利益	319	1,143	291	91.4
<b>日本 医療用医薬品 主力品売上収益</b>				
ヒト型抗ヒトTNF $\alpha$ モノクローナル抗体 ヒュミラ	81	326	94	115.8
アルツハイマー型、レビー小体型認知症治療剤 アリセプト	114	405	89	78.2
疼痛治療剤（神経障害性疼痛・線維筋痛症） リリカ	57	247	61	106.5
プロトンポンプ阻害剤 パリエット*	84	304	60	71.0
末梢性神経障害治療剤 メチコパール	55	208	50	90.5
抗がん剤 ハラヴェン	18	68	20	108.3
経口抗凝固剤 ワーファリン	21	76	19	92.2
分岐鎖アミノ酸製剤 リーバクト*	—	—	19	—
不眠症治療薬 ルネスタ	14	60	19	136.3
成分栄養剤 エレンタール*	—	—	16	—
骨粗鬆症治療剤 アクトネル	17	64	16	91.2
抗がん剤 レンビマ	2	15	7	367.1
抗てんかん剤 フィコンパ	—	—	1	—
<b>日本 一般用医薬品等 主力品売上収益</b>				
ビタミンB2主剤「チョコラBBプラス」等 チョコラBBグループ	25	111	32	126.0

\* パリエットには、ヘリコバクター・ピロリ除菌用3剤組み合わせパック製剤「ラベキュアパック400/800」および

「ラベファインパック」の売上収益を含めています。

\* リリカの売上収益は共同販促収入です。

\* 2015年12月28日付で、当社の診断薬事業子会社のエーディア株式会社を譲渡しました。

\* EAファーマの取り扱い製品です。



### 3) 中国 医薬品事業

(億円、%)

	2015年度		2016年度	
	1Q	通期	1Q	前同比
売上収益	129	493	112	86.4 <102.2>
セグメント利益	40	126	36	90.9 <119.7>
<b>中国 主力品売上収益</b>				
末梢性神経障害治療剤 メチコパール (百万人民元)	51 (261)	187 (993)	40 (240)	77.7 <92.0>
肝臓疾患用剤・アレルギー用薬 強力ネオミノファーゲンシー/グリチロン錠 (百万人民元)	23 (116)	93 (492)	21 (126)	91.5 <108.3>
アルツハイマー型認知症治療剤 アリセプト (百万人民元)	14 (70)	56 (295)	14 (84)	100.1 <118.5>
プロトンポンプ阻害剤 パリエット (百万人民元)	9 (46)	33 (173)	9 (55)	100.4 <118.9>

・前同比の<>内は為替の影響を除いた数値を示しています。

### 4) アジア 医薬品事業 (韓国、台湾、香港、インド、アセアン等)

(億円、%)

	2015年度		2016年度	
	1Q	通期	1Q	前同比
売上収益	86	340	86	99.0 <117.0>
セグメント利益	23	83	26	113.1 <139.8>
<b>アジア 主力品売上収益</b>				
アルツハイマー型認知症治療剤 アリセプト	26	100	24	91.3 <108.4>
ヒト型抗ヒトTNF $\alpha$ モノクローナル抗体 ヒュミラ	22	90	24	106.4 <126.3>
プロトンポンプ阻害剤 パリエット	8	35	9	105.8 <124.5>
末梢性神経障害治療剤 メチコパール	9	31	7	77.5 <91.8>
抗がん剤 ハラヴェン	4	19	5	110.6 <130.7>
抗がん剤 レンピマ	-	0	0	- <->

・前同比の<>内は為替の影響を除いた数値を示しています。

5) EMEA 医薬品事業（欧州、中東、アフリカ、オセアニア）

（億円、％）

	2015年度		2016年度	
	1Q	通期	1Q	前同比
売上収益	102	413	90	89.0 <99.7>
セグメント利益	19	102	34	173.2 <189.7>
<b>EMEA 主力品売上収益</b>				
抗がん剤 ハラヴェン	34	132	27	79.2 <89.9>
抗てんかん剤 ゾネグラン	20	76	15	74.1 <83.2>
抗てんかん剤 Fycompa	7	36	11	150.4 <169.1>
抗てんかん剤 Zebinix	9	38	7	77.3 <85.7>
抗てんかん剤 イノベロン	5	22	5	86.3 <96.9>
抗がん剤 レンビマ	0	11	4	6077.2 <6735.9>

・前同比の<>内は為替の影響を除いた数値を示しています。



## 5. 主力品売上収益

### 1) ニューロロジ領域製品

(億円、%)

	2015年度		2016年度	
	1Q	通期	1Q	前同比
ニューロロジ領域製品計	468	1,797	406	86.9 <92.8>
アリセプト (アルツハイマー型、レビー小体型認知症治療剤)	180	633	132	73.3 <77.6>
日本	114	405	89	78.2
中国	14	56	14	100.1 <118.5>
アジア	26	100	24	91.3 <108.4>
メチコパール (末梢性神経障害治療剤)	118	435	98	83.3 <90.6>
日本	55	208	50	90.5
中国	51	187	40	77.7 <92.0>
アジア	9	31	7	77.5 <91.8>
リリカ (疼痛治療剤) ・日本	57	247	61	106.5
イノベロン/Banzel (抗てんかん剤)	34	158	37	108.7 <121.8>
アメリカス	27	132	31	113.0 <126.8>
EMEA	5	22	5	86.3 <96.9>
フィコンパ/Fycompa (抗てんかん剤)	15	76	25	169.2 <189.5>
日本	—	—	1	—
アメリカス	7	38	12	163.6 <184.0>
アジア	0	1	1	5454.1 <6464.6>
EMEA	7	36	11	150.4 <169.1>
ルネスタ (不眠症治療薬) ・日本	14	60	19	136.3
ソネグラン (抗てんかん剤)	24	92	16	67.3 <75.8>
EMEA	20	76	15	74.1 <83.2>
Belvia (肥満症治療剤) ・米国	15	44	10	66.4 <74.5>
Zebinix (抗てんかん剤) ・EMEA	9	38	7	77.3 <85.7>
その他	3	13	3	83.5 <83.5>

- ・前同士の<>内は為替の影響を除いた数値を示しています。
- ・アリセプトのレビー小体型認知症の適応は日本とフィリピンのみです。
- ・リリカの売上収益は共同販促収入です。

## 2) オンコロジー領域製品

(億円、%)

	2015年度		2016年度	
	1Q	通期	1Q	前同比
オンコロジー領域製品計	279	1,184	285	101.9 <112.9>
Aloxi (制吐剤)・アメリカス	135	547	120	89.2 <100.1>
ハラヴェン (抗がん剤)	101	402	94	92.7 <102.6>
日本	18	68	20	108.3
アメリカス	44	183	42	95.1 <107.3>
アジア	4	19	5	110.6 <130.7>
EMEA	34	132	27	79.2 <89.9>
レンピマ (抗がん剤)	13	115	44	347.6 <382.8>
日本	2	15	7	367.1
アメリカス	11	88	32	302.9 <340.0>
アジア	—	0	0	—
EMEA	0	11	4	6077.2 <6735.9>
トレアキシシ/シンベンダ (抗がん剤)	11	41	11	100.1 <101.3>
その他	20	79	16	79.7 <88.4>

・前同比の< >内は為替の影響を除いた数値を示しています。

・当連結会計年度より、がん関連領域をオンコロジー領域に名称変更し、領域に含まれる製品を見直しています。  
この変更に合わせて、前連結会計年度の数値を修正再表示しています。

## 6. セグメント別売上収益予想（2016年度）

（億円）

	2015年度		2016年度	
	1Q	通期	1Q	通期予想
<b>日本</b>	698	2,849	771	3,140
<b>医療用医薬品</b>	615	2,339	653	2,680
ヒト型抗ヒトTNF $\alpha$ モノクローナル抗体 ヒュミラ	81	326	94	390
アルツハイマー型、レビー小体型認知症治療剤 アリセプト	114	405	89	335
プロトンポンプ阻害剤 パリエット*	84	304	60	245
末梢性神経障害治療剤 メチコパール	55	208	50	190
不眠症治療薬 ルネスタ	14	60	19	110
抗がん剤 ハラヴェン	18	68	20	100
経口抗凝固剤 ワーファリン	21	76	19	70
成分栄養剤 エレンタール*	—	—	16	65
分岐鎖アミノ酸製剤 リーバクト*	—	—	19	60
骨粗鬆症治療剤 アクトネル	17	64	16	60
<b>ジェネリック医薬品</b>	69	285	71	285
<b>一般用医薬品等</b>	40	181	47	175
ビタミンB2主剤「チョコラBBプラス」等 チョコラBBグループ	25	111	32	110
<b>診断薬</b>	14	44	—	—
<b>アメリカス</b>	298	1,222	292	1,270
<b>米国</b>	295	1,210	288	1,235
<b>中国</b>	129	493	112	530
<b>アジア</b>	86	340	86	345
<b>EMEA</b>	102	413	90	415
<b>その他</b>	39	162	19	100
<b>連結売上収益</b>	<b>1,392</b>	<b>5,479</b>	<b>1,369</b>	<b>5,800</b>
<b>主要品目グローバル売上収益</b>				
アリセプト	180	633	132	520
パリエット/アシフェックス	128	461	97	370
ハラヴェン	101	402	94	490
日本	18	68	20	100
アメリカス	44	183	42	215
アジア	4	19	5	20
EMEA	34	132	27	155
レンビマ	13	115	44	280
日本	2	15	7	51
アメリカス	11	88	32	190
アジア	—	0	0	2
EMEA	0	11	4	37
Fycompa（日本を除く）	15	76	23	135
アメリカス	7	38	12	80
アジア	0	1	1	3
EMEA	7	36	11	52

\* EAファーマの取り扱い製品です。

・フィコンパ（英文製品名「Fycompa」）の日本での2016年度1Qの売上収益は1億円です。

## 7. 連結包括利益計算書

(億円、%)

	2015年度		2016年度		
	1Q	通期	1Q	前同比	増減額
四半期(当期)利益	55	550	209	378.9	154
その他の包括利益					
損益に振り替えられることのない項目					
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	28	16	△ 22	—	△ 51
確定給付制度に係る再測定	—	△ 68	—	—	—
小計	28	△ 52	△ 22	—	△ 51
損益にその後に振り替えられる可能性のある項目					
在外営業活動体の換算差額	118	△ 327	△ 414	—	△ 531
キャッシュ・フロー・ヘッジ	0	△ 7	△ 3	—	△ 4
小計	118	△ 334	△ 417	—	△ 535
その他の包括利益合計	146	△ 386	△ 439	—	△ 586
四半期(当期)包括利益	202	165	△ 230	—	△ 432
四半期(当期)包括利益の帰属					
親会社所有者	201	165	△ 241	—	△ 442
非支配持分	1	△ 0	12	1499.6	11

## 8. 連結キャッシュ・フロー計算書

(億円)

	2015年度		2016年度	
	1Q		1Q	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー				
税引前四半期利益	74		258	184
減価償却費及び償却費	103		80	△ 24
運転資本の増減額 (△は増加)	98		△ 239	△ 337
利息及び配当金の受取額	6		7	1
利息の支払額	△ 10		△ 7	3
法人所得税の支払額	△ 28		△ 52	△ 24
法人所得税の還付額	2		3	1
その他	△ 35		△ 98	△ 63
営業活動によるキャッシュ・フロー	211		△ 48	△ 259
投資活動によるキャッシュ・フロー				
① 有形固定資産の取得による支出	△ 15		△ 14	1
② 有形固定資産の売却による収入	2		2	0
③ 無形資産の取得による支出	△ 301		△ 12	289
④ 子会社の取得による収入	—		193	193
⑤ 子会社の売却による収入	—		65	65
<資本的支出等 (キャッシュベース) > ①+②+③+④+⑤	△ 314		234	548
金融資産の取得による支出	△ 45		△ 27	18
金融資産の売却・償還による収入	43		24	△ 19
3カ月超預金の預入による支出	△ 37		△ 18	19
3カ月超預金の払戻による収入	178		19	△ 160
その他	△ 0		1	1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 174		234	408
財務活動によるキャッシュ・フロー				
短期借入金の増減額 (△は減少)	103		—	△ 103
長期借入れによる収入	—		100	100
社債の償還による支出	△ 300		—	300
配当金の支払額	△ 229		△ 229	△ 0
その他	1		△ 18	△ 19
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 425		△ 147	278
現金及び現金同等物に係る換算差額	41		△ 104	△ 146
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△ 346		△ 66	280
現金及び現金同等物の期首残高	1,733		1,793	60
現金及び現金同等物の期末残高	1,387		1,727	340

フリー・キャッシュ・フロー	△103	187	289
---------------	------	-----	-----

・フリー・キャッシュ・フローニ(営業活動によるキャッシュ・フロー)－(資本的支出等(キャッシュベース))

### <コメント>

- 営業活動によるキャッシュ・フロー
  - ・税引前当期利益の増加、運転資本の変動
- 投資活動によるキャッシュ・フロー
  - ・子会社の取得による収入発生、子会社の売却による収入発生
- 財務活動によるキャッシュ・フロー
  - ・長期借入れによる収入発生

## 9. 連結財政状態計算書

### <資産の部>

(億円、%)

	2015年度		2016年度			
	3月末	構成比	6月末	構成比	前期末比	増減額
資産						
非流動資産						
有形固定資産	1,046	10.7	1,004	10.4	96.0	△ 42
のれん	1,749	18.0	1,597	16.6	91.3	△ 152
無形資産	1,042	10.7	1,045	10.8	100.3	3
その他の金融資産	438	4.5	409	4.2	93.2	△ 30
その他	71	0.7	88	0.9	122.7	16
繰延税金資産	916	9.4	910	9.4	99.3	△ 6
非流動資産合計	5,262	54.0	5,051	52.4	96.0	△ 211
流動資産						
棚卸資産	737	7.6	731	7.6	99.2	△ 6
営業債権及びその他の債権	1,477	15.2	1,712	17.8	115.9	235
その他の金融資産	195	2.0	195	2.0	99.7	△ 1
その他	203	2.1	215	2.2	106.1	12
現金及び現金同等物	1,768	18.2	1,727	17.9	97.7	△ 41
小計	4,380	45.0	4,580	47.6	104.6	200
売却目的で保有する資産	98	1.0	—	—	—	△ 98
流動資産合計	4,478	46.0	4,580	47.6	102.3	102
資産合計	9,740	100.0	9,631	100.0	98.9	△ 109

### <コメント>

#### ■資産の部

- ・EAファーマ株式会社の取得に伴う増加
- ・円高に伴い、海外子会社資産が減少
- ・サンノーバ株式会社の譲渡に伴い、売却目的で保有する資産が減少

<資本及び負債の部>

(億円、%)

	2015年度		2016年度			
	3月末	構成比	6月末	構成比	前期末比	増減額
資本						
親会社の所有者に帰属する持分						
資本金	450	4.6	450	4.7	100.0	—
資本剰余金	582	6.0	776	8.1	133.2	193
自己株式	△ 362	△ 3.7	△ 364	△ 3.8	100.5	△ 2
利益剰余金	3,950	40.6	3,897	40.5	98.7	△ 52
その他の資本の構成要素	1,117	11.5	700	7.3	62.7	△ 417
親会社の所有者に帰属する持分合計	5,737	58.9	5,459	56.7	95.2	△ 277
非支配持分	32	0.3	168	1.7	529.1	136
資本合計	5,768	59.2	5,627	58.4	97.5	△ 141
負債						
非流動負債						
借入金	2,036	20.9	2,107	21.9	103.5	71
その他の金融負債	32	0.3	36	0.4	111.1	4
退職後給付に係る負債	132	1.4	138	1.4	104.4	6
引当金	12	0.1	12	0.1	101.1	0
その他	210	2.2	211	2.2	100.5	1
繰延税金負債	3	0.0	3	0.0	110.7	0
非流動負債合計	2,424	24.9	2,506	26.0	103.4	81
流動負債						
営業債務及びその他の債務	564	5.8	545	5.7	96.6	△ 19
その他の金融負債	42	0.4	61	0.6	144.3	19
未払法人所得税	54	0.6	44	0.5	80.7	△ 10
引当金	111	1.1	109	1.1	97.6	△ 3
その他	747	7.7	739	7.7	98.9	△ 8
小計	1,519	15.6	1,498	15.6	98.6	△ 22
売却目的で保有する資産に直接関連する負債	28	0.3	—	—	—	△ 28
流動負債合計	1,547	15.9	1,498	15.6	96.8	△ 49
負債合計	3,972	40.8	4,004	41.6	100.8	32
資本及び負債合計	9,740	100.0	9,631	100.0	98.9	△ 109

<コメント>

■資本の部

- ・EAファーマ株式会社の取得に伴い、資本剰余金が増加
- ・前期末からの為替換算差額の減少に伴い、その他の資本の構成要素が減少

■負債の部

- ・借入金が増加
- ・サンノーバ株式会社の譲渡に伴い、売却目的で保有する資産に直接関連する負債が減少

## 10. 連結四半期業績の推移

### 1) 損益計算書項目

(億円)

	2015年度				2016年度
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
売上収益	1,392	1,363	1,509	1,215	1,369
売上原価	494	501	498	452	498
売上総利益	898	862	1,012	763	871
販売費及び一般管理費	499	465	495	469	437
販売費	160	155	148	149	125
人件費	223	198	202	198	198
管理費他	116	112	146	122	114
研究開発費	327	301	285	309	262
その他の収益	4	15	83	74	103
その他の費用	0	6	8	26	17
営業利益	76	105	306	33	258
金融収益	7	3	6	4	7
金融費用	8	9	10	7	7
税引前四半期利益	74	99	302	30	258
法人所得税	19	43	29	△137	49
四半期利益	55	56	273	166	209
四半期利益の帰属					
親会社所有者	54	56	273	166	197
非支配持分	1	0	△0	0	12
四半期包括利益	202	△99	305	△243	△230
EPS (円)	19.1	19.5	95.5	58.1	69.0

・当連結会計年度より、販売費及び一般管理費の内訳を組替えました。この変更に合わせて、前連結会計年度の数値を修正再表示しています。

・EPS：基本的1株当たり四半期利益

### 2) 資本的支出及び減価償却費の状況

(億円)

	2015年度				2016年度
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
資本的支出額	13	20	110	55	171
有形固定資産	10	15	63	40	47
無形資産	3	5	47	15	124
減価償却費及び償却費	103	101	70	66	80
有形固定資産	35	33	32	31	29
無形資産	68	69	38	35	51

・資本的支出額は発生ベースで示しています。



### 3) キャッシュ・フロー計算書項目

(億円)

	2015年度				2016年度
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
営業活動によるキャッシュ・フロー	211	227	177	341	△48
投資活動によるキャッシュ・フロー	△174	40	25	43	234
財務活動によるキャッシュ・フロー	△425	△0	△96	△209	△147
現金及び現金同等物の期末残高	1,387	1,601	1,700	1,793	1,727
フリー・キャッシュ・フロー	△103	336	196	382	187

・フリー・キャッシュ・フロー＝（営業活動によるキャッシュ・フロー）－（資本的支出等（キャッシュベース））

### 4) 財政状態計算書項目

(億円)

	2015年度				2016年度
	6月末	9月末	12月末	3月末	6月末
資産	10,017	9,871	10,182	9,740	9,631
資本	5,997	5,900	6,006	5,768	5,627
親会社の所有者に帰属する持分	5,963	5,867	5,973	5,737	5,459
負債	4,020	3,971	4,176	3,972	4,004
借入金	2,170	2,163	2,270	2,036	2,107
親会社所有者帰属持分比率（％）	59.5	59.4	58.7	58.9	56.7
負債比率（Net DER／倍）	0.11	0.06	0.06	0.01	0.04

・負債比率（Net DER）＝（有利子負債（社債及び借入金）－現金及び現金同等物－3カ月超預金等）÷親会社の所有者に帰属する持分

## 5) 主力品売上収益の四半期推移

### (1) ニューロロジー領域製品

(億円)

	2015年度				2016年度
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
ニューロロジー領域製品計	468	456	495	379	406
アリセプト (アルツハイマー型、レビー小体型認知症治療剤)	180	160	176	117	132
日本	114	101	120	70	89
中国	14	14	14	15	14
アジア	26	25	26	23	24
メチコバル (末梢性神経障害治療剤)	118	112	118	88	98
日本	55	50	59	43	50
中国	51	52	48	36	40
アジア	9	9	7	6	7
リリカ (疼痛治療剤) ・日本	57	61	69	60	61
イノベロン/Banzel (抗てんかん剤)	34	40	45	40	37
アメリカス	27	33	38	34	31
EMEA	5	5	6	5	5
フィコンパ/Fycompa (抗てんかん剤)	15	18	22	22	25
日本	—	—	—	—	1
アメリカス	7	9	11	11	12
アジア	0	0	0	1	1
EMEA	7	8	10	10	11
ルネスタ (不眠症治療薬) ・日本	14	15	17	14	19
ソネグラン (抗てんかん剤)	24	26	25	16	16
EMEA	20	20	21	15	15
Belvia (肥満症治療剤) ・米国	15	11	10	9	10
Zebinix (抗てんかん剤) ・EMEA	9	10	9	11	7
その他	3	3	4	3	3

・アリセプトのレビー小体型認知症の適応は日本とフィリピンのみです。

・リリカの売上収益は共同販促収入です。

### (2) オンコロジー領域製品

(億円)

	2015年度				2016年度
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
オンコロジー領域製品計	279	295	312	298	285
Aloxi (制吐剤) ・アメリカス	135	141	142	129	120
ハラヴェン (抗がん剤)	101	98	102	101	94
日本	18	16	18	15	20
アメリカス	44	46	44	50	42
アジア	4	5	5	5	5
EMEA	34	32	34	32	27
レンピマ (抗がん剤)	13	28	36	38	44
日本	2	4	5	5	7
アメリカス	11	22	27	29	32
アジア	—	—	0	0	0
EMEA	0	2	4	5	4
トリアキシシ/シンベンダ (抗がん剤)	11	10	12	9	11
その他	20	18	20	21	16

## 11. 主要開発品

### ＜自社開発品一覧＞

品目／開発コード	効能追加等**	開発ステージ***	領域
<b>承認取得品</b>			
◎ ハラヴェン（脂肪肉腫）	効能	（欧）承認	がん
◎ Fycompa（経口懸濁液）	剤形	（米）承認	神経
◎ レンビマ（腎細胞がん）	効能	（米）承認	がん
◎ Belvia（1日1回製剤）	剤形	（米）承認	神経
<b>申請中・申請準備中開発品</b>			
アリセプト（高度アルツハイマー型認知症）	効能	（中）申請	神経
Fycompa（経口懸濁液）	剤形	（欧）申請	神経
レンビマ（腎細胞がん）	効能	（欧）申請	がん
◎ ハラヴェン（乳がん）		（中）申請準備中	がん
<b>臨床試験中開発品</b>			
◎ E2006（不眠症）		（日米欧）PⅢ	神経
AJG511（潰瘍性大腸炎）*		（日）PⅢ	消化器
AJG533（慢性便秘症）*		（日）PⅢ	消化器
AJM300（潰瘍性大腸炎）*		（日）PⅢ	消化器
AJG555（慢性便秘症）*		（日）PⅢ	消化器
リーバクト（低アルブミン血症）		（中）PⅢ	消化器
ハラヴェン（非小細胞肺癌）	効能	（日米欧ア）PⅢ	がん
レンビマ（肝細胞がん）	効能	（日米欧中ア）PⅢ	がん
パリエット（PPI 抵抗性逆流性食道炎に対する維持療法）*	効能	（日）PⅢ	消化器
BAN2401（アルツハイマー型認知症）		（日米欧）PⅡ	神経
E2609（アルツハイマー型認知症）		（米）PⅡ	神経
MORAb-003（プラチナ感受性卵巣がん）		（日米欧）PⅡ	がん
MORAb-003（非小細胞肺癌）		（米欧）PⅡ	がん
MORAb-004（メラノーマ）		（米欧）PⅡ	がん
MORAb-004（大腸がん）		（米欧）PⅡ	がん
MORAb-004（悪性軟部腫瘍）		（米欧）PⅡ	がん
MORAb-009（中皮腫）		（米欧）PⅡ	がん
E7820（大腸がん）		（米欧）PⅡ	がん
E7777（末梢性T細胞リンパ腫、皮膚T細胞性リンパ腫）		（日）PⅡ	がん
ハラヴェン（乳がん・抗PD-1抗体ベムプロリスマブとの併用療法）		（米）PⅠ/Ⅱ	がん
レンビマ（固形がん・抗PD-1抗体ベムプロリスマブとの併用療法）		（米）PⅠ/Ⅱ	がん
◎ ハラヴェン（乳がん・PEGPH20との併用療法）		（米）PⅠ/Ⅱ	がん
Fycompa（部分てんかん小児適応）	効能	（米欧）PⅡ	神経
アリセプト（ダウン症候群の退行様症状）	効能	（日）PⅡ	神経
ハラヴェン（膀胱がん）	効能	（米欧）PⅠ/Ⅱ	がん
レンビマ（子宮内膜がん）	効能	（米欧）PⅡ	がん
レンビマ（メラノーマ）	効能	（米欧）PⅡ	がん
レンビマ（非小細胞肺癌、サードライン・単剤）	効能	（米欧）PⅡ	がん
レンビマ（非小細胞肺癌、RET 転座）	効能	（日米欧ア）PⅡ	がん
レンビマ（胆道がん）	効能	（日）PⅡ	がん
E6011（関節リウマチ）		（日）PⅠ/Ⅱ	その他
E6011（クローン病）*		（日）PⅠ/Ⅱ	その他
Belvia（肥満症）		（日）PⅠ	神経
E2027（アルツハイマー型認知症）		（米）PⅠ	神経
E7090（固形がん）		（日）PⅠ	がん
MORAb-066（固形がん）		（米）PⅠ	がん
E7046（固形がん）		（米欧）PⅠ	がん
◎ H3B-6527（肝細胞がん）		（米）PⅠ	がん
E6007（炎症性腸疾患）*		（日）PⅠ	消化器
MORAb-022（関節リウマチ）		（米）PⅠ	その他
E6071（自己免疫疾患）		（欧）PⅠ	その他
レンビマ（腎細胞がん）	効能	（日）PⅠ	がん
アリセプト（パッチ製剤）	剤形	（日）PⅠ	神経
ハラヴェン（リボソーム製剤）	剤形	（欧）PⅠ	がん

\* EA ファーマ開発品、\*\* 効能：効能効果追加、剤形：剤形追加

\*\*\* 日：日本、米：米国、欧：欧州、中：中国、ア：日本・中国を除くアジア P = Phase：臨床試験段階

◎：2016年4月以降の進捗

## (1) 神経

開発品コード：E2020 一般名：ドネペシル 製品名：アリセプト

薬効／作用機序：アルツハイマー型、レビー小体型認知症治療剤			自社品	
[概要] 神経伝達物質のアセチルコリンを分解する酵素であるアセチルコリンエステラーゼを阻害することにより、脳内アセチルコリン濃度を高め、アルツハイマー型認知症（AD）の認知症症状の進行を抑制します。軽度および中等度のAD治療剤として、世界90カ国以上で承認されており、米国、日本、カナダ、中南米やアジアの一部の国などでは高度ADにも承認されています。日本とフィリピンにおいてはレビー小体型認知症の適応も取得しています。				
高度アルツハイマー型認知症（効能追加）	339試験	中国	申請（2015年2月）	経口剤
ダウン症候群の退行様症状（効能追加）	345試験	日本	PII	経口剤
パッチ製剤（剤形追加、E2022）		日本	PI	帝國製薬と共同開発 貼付剤

開発品コード：E2007 一般名：ペランパネル 製品名：フィコンパ/Fycompa

薬効／作用機序：抗てんかん剤／AMPA受容体拮抗剤			自社品	
[概要] グルタミン酸受容体のサブタイプであるAMPA受容体へのグルタミン酸の結合を選択的に阻害します。部分てんかんの併用療法に対して日本、欧州、米国およびアジアなど、50カ国以上で承認を取得しています。また、全般てんかんの強直間代発作の併用療法の適応についても、日本、米国、欧州などで承認を取得しています。				
経口懸濁液（剤形追加）		◎ 米国	承認（2016年4月） 欧州 申請（2015年6月）	経口剤
部分てんかん小児適応（効能追加）	232試験	米欧	PII	経口剤

開発品コード：E2006 一般名：lemborexant

薬効／作用機序：不眠症治療剤／オレキシン受容体拮抗剤			自社品	
[概要] 睡眠と覚醒の調整に関与するオレキシンの受容体に拮抗することで、覚醒状態を鎮め、自然な睡眠の誘発・維持を期待しています。				
◎ 不眠症	304試験	日米欧	PIII	Purdue Pharmaと共同開発 経口剤

開発品コード：BAN2401

薬効／作用機序：アルツハイマー型認知症治療剤／ヒト化抗Aβプロトフィブリルモノクローナル抗体			導入品（バイオアーキティックニューロサイエンス）	
[概要] ベータアミロイド（Aβ）プロトフィブリルに対するヒト化IgG1抗体です。神経毒性を呈することが報告されているAβプロトフィブリルを除去することで、アルツハイマー型認知症の進行を抑制することを期待しています。				
アルツハイマー型認知症	201試験	日米欧	PII	Biogen Inc.と共同開発 注射剤

開発品コード：E2609

薬効／作用機序：アルツハイマー型認知症治療剤／βサイト切断酵素（BACE）阻害剤			自社品	
[概要] アミロイド前駆体タンパク質のβサイト切断酵素であるBACEを阻害することで、ベータアミロイドの総量を低下させ、アルツハイマー型認知症の進行を抑制することを期待しています。				
アルツハイマー型認知症	202試験	米国	PII	Biogen Inc.と共同開発 経口剤

開発品コード：APD356 一般名：lorcaserin 製品名：Belvia

薬効／作用機序：肥満症治療剤／セロトニン2C受容体作動剤		導入品 (Arena Pharmaceuticals)	
<p>【概要】新規作用機序の肥満症治療剤です。選択的に脳内のセロトニン2C受容体を刺激することにより摂食を抑制し、満腹感を促進すると考えられています。本剤は、米国において、Body Mass Index (BMI) が30kg/m<sup>2</sup>以上、あるいは少なくとも1つ以上の体重に関連する合併症を有するBMIが27kg/m<sup>2</sup>以上の成人患者様の体重管理を目的とした食事療法と運動療法に対する補助療法として、2012年6月に米国食品医薬品局 (FDA) より承認され、米国麻薬取締局によるスケジューリング指定を経て、2013年6月に発売されました。2016年7月にメキシコにおいても承認を取得しました。</p>			
◎ 肥満症1日1回製剤 (剤形追加)		米国 承認 (2016年7月)	経口剤
肥満症		日本 PI	経口剤

開発品コード：E2027

アルツハイマー型認知症	米国 PI	自社品	経口剤
-------------	-------	-----	-----

## (2) がん

開発品コード：E7389 一般名：エリブリン 製品名：ハラヴェン

薬効／作用機序：抗がん剤／微小管ダイナミクス阻害剤		自社品	
<p>【概要】クロイソカイメン由来のハリコンドリンBの合成類縁体で、微小管の伸長を阻害し細胞周期を停止させることで抗腫瘍活性を示します。米国、欧州、日本、アジアなど、60カ国以上で乳がんに係る承認を取得しています。また、米国、日本、欧州などにおいて悪性軟部腫瘍に係る適応追加の承認を取得しました。</p>			
◎ 乳がん	304試験	中国 申請準備中	注射剤
◎ 悪性軟部腫瘍 (効能追加)	309試験	欧州 承認 (2016年5月・脂肪肉腫)	注射剤
非小細胞肺癌 (効能追加)	302試験	日米欧ア PⅢ	注射剤
膀胱がん (効能追加)	702試験	米欧 PI/Ⅱ	注射剤
トリプルネガティブ乳がん (抗PD-1抗体ペムブロリスマブとの併用)	218試験	米国 PI/Ⅱ	Merck & Co., Inc., Kenilworth, N.J., U.S.A.と共同開発 注射剤
◎ HER2陰性乳がん (PEGPH20との併用)	219試験	米国 PI/Ⅱ	Halozymeと共同開発 注射剤
リポソーム製剤 (剤形追加)		欧州 PI	注射剤

開発品コード：**E7080** 一般名：**レンパチニブ** 製品名：**レンビマ**

薬効／作用機序：抗がん剤／分子標的治療薬		自社品		
[概要] 血管内皮増殖因子受容体 (VEGFR) や線維芽細胞増殖因子受容体 (FGFR) に加え、血小板由来増殖因子受容体 (PDGFR)、KIT、RETなどの腫瘍血管新生あるいは腫瘍悪性化に関与する受容体型チロシンキナーゼ (RTK) に対する選択的阻害活性を有する経口投与可能な、自社創出の新規結合型チロシンキナーゼ阻害剤です。本剤は、VEGFR2とのX線共結晶構造解析から、新たな結合様式 (タイプV) を有することが確認された薬剤であり、速度論的解析からは、標的分子に素早く結合し強力なキナーゼ阻害作用を示すことが確認されています。甲状腺がんに係る適応で、米国・日本・欧州、韓国など45カ国以上で承認を取得しています。				
腎細胞がん (効能追加)	205試験	◎ 米国 承認 (2016年5月) 欧州 申請 (2016年1月) 日本 PI		経口剤
肝細胞がん (効能追加)	304試験	日米欧中ア PIII	2016年度申請予定	経口剤
子宮内膜がん (効能追加)	204試験	米欧 PII		経口剤
メラノーマ (効能追加)	702試験	米欧 PII		経口剤
非小細胞肺がん (サードライン・単剤) (効能追加)	703試験	米欧 PII		経口剤
非小細胞肺がん (RET転座) (効能追加)	209試験	日米欧ア PII		経口剤
胆道がん (効能追加)	215試験	日本 PII		経口剤
固形がん (抗PD-1抗体ペムブロリズマブとの併用)	111試験	米国 PI/II	Merck & Co., Inc., Kenilworth, N.J., U.S.A.と共同開発	経口剤/ 注射剤

開発品コード：**MORAb-003** 一般名：**ファルレツズマブ**

薬効／作用機序：抗がん剤／ヒト化抗葉酸受容体 $\alpha$ モノクローナル抗体		自社品		
[概要] 葉酸受容体 $\alpha$ (FRA) に対するヒト化IgG1抗体です。FRAが過剰発現しているがん腫に対して抗腫瘍効果を期待しています。				
プラチナ感受性卵巣がん	O11試験	日米欧 PII		注射剤
非小細胞肺がん	O09試験	米欧 PII		注射剤

開発品コード：**MORAb-004**

薬効／作用機序：抗がん剤／ヒト化抗エンドシアリンモノクローナル抗体		自社品		
[概要] Tumor endothelial marker 1 (TEM-1)/エンドシアリンに対するヒト化IgG1抗体です。エンドシアリンを発現しているがん腫に対して抗腫瘍効果を期待しています。				
メラノーマ	201試験	米欧 PII		注射剤
大腸がん	202試験	米欧 PII		注射剤
悪性軟部腫瘍	203試験	米欧 PII		注射剤

開発品コード：**MORAb-009** 一般名：**amatuximab**

薬効／作用機序：抗がん剤／キメラ型抗メソセリンモノクローナル抗体		自社品		
[概要] メソセリンに対するキメラ型IgG1抗体です。メソセリンを発現しているがん腫に対して抗腫瘍効果を期待しています。				
中皮腫	O03/201試験	米欧 PII		注射剤

開発品コード：**E7820**

薬効／作用機序：抗がん剤／インテグリン $\alpha 2$ 発現抑制剤		自社品		
[概要] 血管内皮細胞の接着分子であるインテグリン $\alpha 2$ の発現抑制作用により血管新生を阻害します。				
大腸がん	702試験	米欧 PII		経口剤

開発品コード：E7777

薬効／作用機序：抗がん剤／インターロイキン2受容体結合部分とジフテリア毒素の融合タンパク製剤	自社品
[概要] インターロイキン 2 (IL-2) の受容体結合部分とジフテリア毒素の融合タンパク製剤であり、細胞表面上の IL-2 受容体と特異的に結合し、細胞内に移行したジフテリア毒素がタンパク質合成を阻害します。	
末梢性T細胞リンパ腫、皮膚T細胞性リンパ腫	205試験 日本 PII 注射剤

開発品コード：E7090

固形がん	日本 PI 自社品 経口剤
------	---------------

開発品コード：MORAb-066

固形がん	米国 PI 導入品 (Janssen Biotech) 注射剤
------	---------------------------------

開発品コード：E7046

固形がん	米欧 PI 自社品 経口剤
------	---------------

開発品コード：H3B-6527

◎ 肝細胞がん	米 PI 自社品 経口剤
---------	--------------

### (3) 消化器

開発品コード：E3810 一般名：ラベプラゾール 製品名：パリエット／アシフェックス

薬効／作用機序：プロトンポンプ阻害剤	自社品
[概要] プロトンポンプ阻害作用に基づき、胃潰瘍、十二指腸潰瘍、逆流性食道炎、ヘリコバクター・ピロリ除菌、ラベプラゾールを含むヘリコバクター・ピロリ除菌用3剤併用バック製剤などの承認を取得しています。2014年12月に低用量アスピリン投与時における胃潰瘍または十二指腸潰瘍の再発抑制に関する効能・効果および5mg錠の剤形追加の承認を取得しました。	
PPI抵抗性逆流性食道炎に対する維持療法 (効能追加)	311試験 日本 PIII 2016年度申請予定 EAファーマが開発 経口剤

開発品コード：AJG511 一般名：フデソニド

薬効／作用機序：潰瘍性大腸炎治療剤／局所作用型ステロイド	導入品 (Dr. Falk Pharma)
[概要] 日本初のフデソニドを有効成分とする泡状の注腸製剤（注腸フォーム製剤）です。フデソニドは局所作用型ステロイドであるため全身性の副作用の低減が期待でき、さらに、泡状であることから直腸およびS状結腸の炎症部位に薬剤が到達し、投与後にも漏れ出しにくい特徴があります。フデソニド注腸フォーム剤は、欧州においては既に発売されています。	
潰瘍性大腸炎	日本 PIII 2016年度申請予定 EAファーマとキッセイ薬 注腸剤 品の共同開発

開発品コード：AJG533 一般名：elobixibat

薬効／作用機序：慢性便秘症治療剤／胆汁酸トランスポーター阻害剤	導入品 (Albireo)
[概要] 新規作用機序をもつ経口便秘薬です。胆汁酸の再吸収に係わる胆汁酸トランスポーターを阻害し、腸管内の胆汁酸を増加させて自然な排便を促します。	
慢性便秘症	日本 PIII EAファーマと持田製薬の 共同開発 経口剤

開発品コード：**AJM300** 一般名：**カロテグラストメチル**

薬効／作用機序：潰瘍性大腸炎治療剤／ $\alpha$ 4インテグリン阻害剤	自社品
[概要] $\alpha$ 4インテグリンを阻害することにより、リンパ球の接着・浸潤を防ぐ機序を有します。経口 $\alpha$ 4インテグリン阻害剤として世界では初めての製品化をめざしています。	
潰瘍性大腸炎	日本 PⅢ EAファーマとキッセイ薬品の共同開発 経口剤

開発品コード：**AJG555**

薬効／作用機序：慢性便秘症治療剤／ポリエチレングリコール製剤	導入品 (Norgine)
[概要] ポリエチレングリコール製剤により腸管内の浸透圧制御を行うことで排便を促す経口便秘薬です。	
慢性便秘症	日本 PⅢ EAファーマが開発 経口剤

一般名：**イソロイシン・ロイシン・バリン顆粒** 製品名：**リーバクト配合顆粒**

薬効／作用機序：分岐鎖アミノ酸製剤	自社品
[概要] 味の素が開発した分岐鎖アミノ酸製剤であり、非代償性肝硬変における血清アルブミン値を改善する薬剤です。日本では「食事摂取量が十分にもかかわらず低アルブミン血症を呈する非代償性肝硬変患者の低アルブミン血症の改善」を効能・効果とし、EAファーマより販売されています。	
低アルブミン血症	中国 PⅢ 2017年度申請予定 経口剤

開発品コード：**E6007**

炎症性腸疾患（インテグリン活性化阻害）	日本 PⅠ	自社品・EAファーマが開発	経口剤
---------------------	-------	---------------	-----

## (4) その他

開発品コード：**E6011**

薬効／作用機序：抗フラクタルカイン抗体	自社品	
関節リウマチ	日本 PⅠ/Ⅱ	注射剤
クローン病	日本 PⅠ/Ⅱ	EAファーマが開発 注射剤

開発品コード：**MORAb-022**

関節リウマチ（抗体）	米国 PⅠ	自社品	注射剤
------------	-------	-----	-----

開発品コード：**E6071 (GSK3050002)**

自己免疫疾患（抗体）	欧州 PⅠ	自社品（グラクソスミスクラインと共同開発）	注射剤
------------	-------	-----------------------	-----